

水未来会議 2024



認定特定非営利活動法人
地球の友と歩む会 小田嶋 龍飛

水問題を“体感”

大学1年生、マレーシア農村整備ボランティアに。

電気、ガス、水道がない生活を2週間。。

水って、めっちゃ重要じゃん！！！！と体感。

水

水を研究テーマに選択！



留学 ⇒ 就職 ⇒ 国際協力

中央大学理工学研究科 水代謝システム工学研究室

文科省 「トビタテ留学JAPAN！」の支援で留学

インドネシアに適した下水処理システムを研究

ビジネスの重要性を実感し、水関連企業に就職



インドネシアで手触り感のある貢献がしたい



インド・インドネシアの農村支援を行うNPOとの出会い

無電力給水ポンプの開発



マングローブの植林



灌漑整備×有機栽培で収入増



『**現地の問題は、現地に住む人々が解決する**』を方針に、現地に根差した支援を実施。



当NPOに参画。留学時代の仲間とバリ島農村の給水事業を開始！

バリ島給水事業の概要

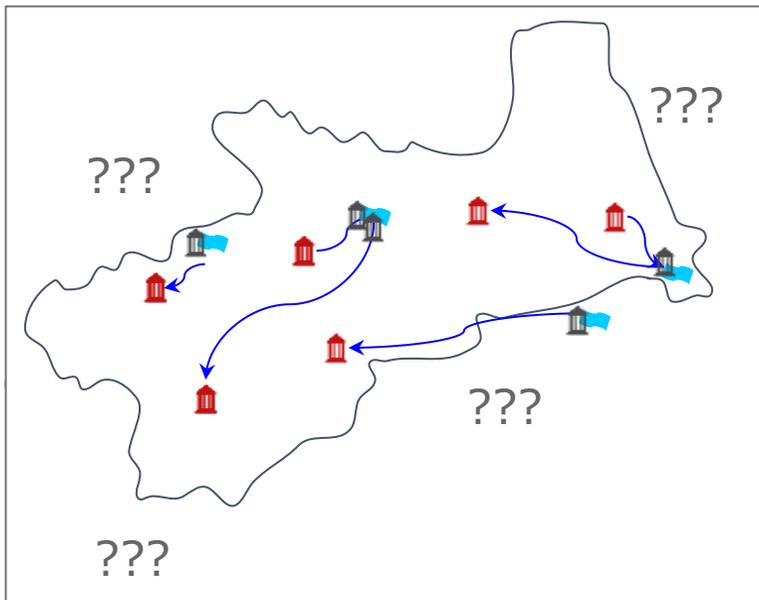
概要

対象：インドネシア バリ島北部 プダワ村（人口：約5,500人）

バリ島南部の観光地と異なり、農業中心の伝統的な慣習村

インドネシア郊外における水インフラ支援の遅れ

給水事業に関する村民の知識、管理、技術の不足



活動① 『村民主導型給水事業スキーム』の構築

プダワモデル (村民主導型給水事業スキーム)



村民自ら
意思決定

インセンティブ
設計による
持続性担保

活動② 現地に適した給水システム整備

村民主体で給設備の整備、メンテナンスを実施

村民がボランティアとして工事に参加



現地で容易に手に入る資材を活用



河原の石



+

シュロの木皮

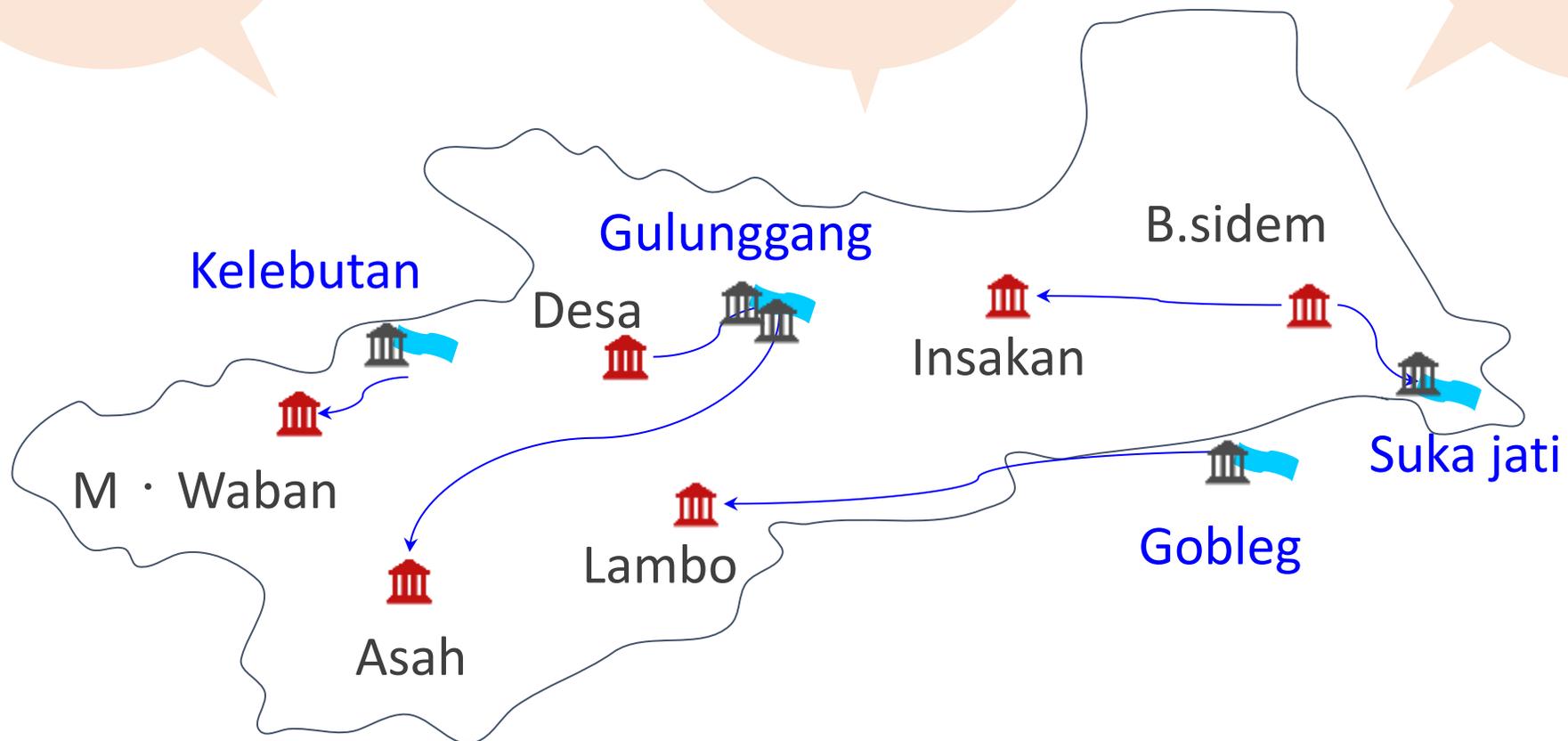


活動③ 給水システム整備による効果

水源の取水量
4倍

配管漏水率
33% ⇒ **8%**

定期メンテで
設備機能向上



ご清聴ありがとうございました！